

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）  
第3編 積算編 新旧対照表

新	旧
 <p>神奈川県 環境農政局緑政部森林再生課</p> <p>神奈川県森林土木事業設計要領(治山編) 第3編 積算編</p> <p>令和6年7月</p>	 <p>神奈川県 環境農政局緑政部森林再生課</p> <p>神奈川県森林土木事業設計要領(治山編) 第3編 積算編</p> <p>令和5年7月</p>

**神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）**  
**第3編 積算編 新旧対照表**

新	旧
<p><b>第1章</b></p> <p><b>第1節</b></p> <p>1. (略)</p> <p><b>2. 適用歩掛について</b></p> <p>施工歩掛は、標準歩掛 第2編治山1-1及び1-2、1-3、1-4を適用することとする。</p> <p>第2編治山1-1.4施工歩掛の日当たり施工量は、制限の内容や土質状況、現場条件の内容について、現地条件に応じて適切に選定することとする。</p> <p>作業種別の「地山の掘削・積込」は、「掘削（仮置き）」及び「掘削積込み」に適用が可能である。</p> <p>（注）2の現場条件の内容における、「掘削深が最適」とは、バックホウアームが届く範囲のことである。</p> <p>治山工事における床堀作業には、作業種別「地山の掘削・積込」を適用する。</p> <p>なお、当該歩掛は、工事の予定価格を算出するための基礎資料とするものであり、実際の施工における工法や使用機械を規定するものではないことに留意する。<u>（削除）</u></p> <p><b>3～6 (略)</b></p> <p><b>7. 人力土工（土砂）</b></p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 適用作業</p> <p>ア～ウ (略)</p> <p>エ 人力盛土（埋戻し）</p> <p><u>（標準歩掛共通工1-4埋戻工4（1）埋戻工Dを適用）</u></p> <p>仮置きされた土砂を人力により3m程度までの範囲で投棄し、さらに敷均しするまでの一連の作業をいう。</p> <p>(4) 施工歩掛</p> <p>ア～ウ (略)</p> <p>エ 人力盛土（埋戻し）</p> <p><u>（標準歩掛共通工1-4埋戻工4（1）埋戻工Dを適用）</u></p> <p><b>8. 埋戻（標準歩掛 第2編治山1-1、1-2）</b></p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 土留工の埋戻</p> <p>埋戻土量は設計図書から算出し、積算は以下のとおりとする。</p> <p>a・・・埋戻し+敷均+締固</p> <p>b・・・埋戻+敷均し(+締固)</p> <p style="padding-left: 20px;">※条件に応じて締固を計上。(例：もたれタイプ土留等)</p> <p>c・・・埋戻し+敷均</p>	<p><b>第1章</b></p> <p><b>第1節</b></p> <p>1. (略)</p> <p><b>2. 適用歩掛について</b></p> <p>施工歩掛は、標準歩掛 第2編治山1-1及び1-2、1-3、1-4を適用することとする。</p> <p>第2編治山1-1.4施工歩掛の日当たり施工量は、制限の内容や土質状況、現場条件の内容について、現地条件に応じて適切に選定することとする。</p> <p>作業種別の「地山の掘削・積込」は、「掘削（仮置き）」及び「掘削積込み」に適用が可能である。</p> <p>（注）2の現場条件の内容における、「掘削深が最適」とは、バックホウアームが届く範囲のことである。</p> <p>治山工事における床堀作業には、作業種別「地山の掘削・積込」を適用する。</p> <p>なお、当該歩掛は、工事の予定価格を算出するための基礎資料とするものであり、実際の施工における工法や使用機械を規定するものではないことに留意する。<u>（標準歩掛の留意事項2）</u></p> <p><b>3～6 (略)</b></p> <p><b>7. 人力土工（土砂）</b></p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 適用作業</p> <p>ア～ウ (略)</p> <p>エ 人力盛土（埋戻し）</p> <p><u>（施工パッケージ型積算方式1章④作業土工（埋戻工）を適用）</u></p> <p>仮置きされた土砂を人力により3m程度までの範囲で投棄し、さらに敷均しするまでの一連の作業をいう。</p> <p>(4) 施工歩掛</p> <p>ア～ウ (略)</p> <p>エ 人力盛土（埋戻し）</p> <p><u>（施工パッケージ型積算方式1章④作業土工（埋戻工）を適用）</u></p> <p><b>8. 埋戻（標準歩掛 第2編治山1-1、1-2）</b></p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 土留工の埋戻</p> <p>埋戻土量は設計図書から算出し、積算は以下のとおりとする。</p> <p>a・・・埋戻し+敷均+締固</p> <p>b・・・埋戻+敷均し(+締固)</p> <p style="padding-left: 20px;">※条件に応じて締固を計上。(例：もたれタイプ土留等)</p> <p>c・・・埋戻し+敷均</p>

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）  
第3編 積算編 新旧対照表

新	旧																								
<p>機械施工(バックホウ使用)の場合 埋戻は「ルーズ」、敷均は本項(3)敷均歩掛を、締固は <u>標準歩掛共通工1-4埋戻工3(2)タンバ締固め</u>を使用する。</p> <p>ただし、土留工が大規模構造物であって、振動ローラ等の機械の搬入が可能な場合は、別途考慮する。</p> <p>人力施工の場合 埋戻(敷均含む)は<u>標準歩掛共通工1-4埋戻工4(1)埋戻工D</u>を使用する。</p> <p>(3) 敷均歩掛(治山ダム工に適用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂・砂質土・粘性土・礫質土</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.05</td> <td>普通作業員／山林砂防工</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石・破碎岩・軟岩 I A</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.09</td> <td>普通作業員／山林砂防工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1 m<sup>3</sup>当り)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>9. (略)</p> <p><b>第2節 運搬工</b> (略)</p> <p><b>第3節 コンクリート工</b> 1~3 (略)</p> <p><b>4. 治山ダム工</b> (1) 型枠工(標準歩掛 第2編治山2-1-8、第1編共通7-10-1) ア. 鋼製または合板型枠 (略)</p>	名 称	単 位	数 量	摘 要	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.05	普通作業員／山林砂防工	岩塊・玉石・破碎岩・軟岩 I A	人	0.09	普通作業員／山林砂防工	<p>機械施工(バックホウ使用)の場合 埋戻は「ルーズ」、敷均は本項(3)敷均歩掛を、締固は <u>施工パッケージ型積算方式1章⑤作業土工(埋戻工)</u> <u>1-1-2タンバ締固め</u>を使用する。</p> <p>ただし、土留工が大規模構造物であって、振動ローラ等の機械の搬入が可能な場合は、別途考慮する。</p> <p>人力施工の場合 埋戻(敷均含む)は<u>施工パッケージ型積算方式1章④作業土工(埋戻工)1-1-1埋戻し(現場制限有り)</u>を使用する。</p> <p>(3) 敷均歩掛(治山ダム工に適用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂・砂質土・粘性土・礫質土</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.05</td> <td>普通作業員／山林砂防工</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石・破碎岩・軟岩 I A</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.09</td> <td>普通作業員／山林砂防工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1 m<sup>3</sup>当り)</p> <p><u>備考 山林砂防工の適用は、森林整備保全事業標準歩掛の留意事項5による。</u></p> <p>9. (略)</p> <p><b>第2節 運搬工</b> (略)</p> <p><b>第3節 コンクリート工</b> 1~3 (略)</p> <p><b>4. 治山ダム工</b> (1) 型枠工(標準歩掛 第2編治山2-1-8、第1編共通7-10-1) ア. 鋼製または合板型枠 (略)</p>	名 称	単 位	数 量	摘 要	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.05	普通作業員／山林砂防工	岩塊・玉石・破碎岩・軟岩 I A	人	0.09	普通作業員／山林砂防工
名 称	単 位	数 量	摘 要																						
砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.05	普通作業員／山林砂防工																						
岩塊・玉石・破碎岩・軟岩 I A	人	0.09	普通作業員／山林砂防工																						
名 称	単 位	数 量	摘 要																						
砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.05	普通作業員／山林砂防工																						
岩塊・玉石・破碎岩・軟岩 I A	人	0.09	普通作業員／山林砂防工																						

## 神奈川県森林土木事業設計要領（治山編） 第3編 積算編 新旧対照表

新	旧																																																																																
<p>イ. 残存型枠</p> <p>1. 残存型枠（コンクリート二次製品） 土木工事標準積算基準書 第Ⅲ編河川第3章②-4 残存型枠工 を適用する。</p> <p>2. 残存型枠(残存軽量型枠)</p> <p style="text-align: center;">(100m2 あたり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世</td> <td>話 役</td> <td>人</td> <td>1.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠 工</td> <td>〃</td> <td>1.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山</td> <td>林 砂 防 工</td> <td>〃</td> <td>3.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠</td> <td>m2</td> <td>106.0</td> <td>600×1200 (mm)、<u>ロス率6%</u></td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>り 付 け 部 品</td> <td>m2</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ</td> <td>フ テ レ ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))</td> <td>日 (h)</td> <td>0.50 3.00</td> <td>ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費</td> <td>%</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。</p> <p>2. 諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3. ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。</p> <p>4. ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.45m3)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。 ・型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で4m 以内、垂直距離で5m以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認)</p> <p>5. ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間/日とする。(森林保全事業建設機械経費積算要領：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)=6.00)</p> <p>3.～4. (略)</p> <p>ウ (略)</p> <p>(2)～(3) (略)</p> <p>4-1～5 (略)</p>	名	称	単 位	数 量	摘 要	世	話 役	人	1.50		型	枠 工	〃	1.70		山	林 砂 防 工	〃	3.50		型	枠	m2	106.0	600×1200 (mm)、 <u>ロス率6%</u>	取	り 付 け 部 品	m2	100.0		ラ	フ テ レ ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)	諸	雑 費	%	13.0		<p>イ. 残存型枠</p> <p>1. 残存型枠（コンクリート二次製品） 土木工事標準積算基準書 第Ⅲ編河川第3章②-4 残存型枠工 を適用する。</p> <p>2. 残存型枠(残存軽量型枠)</p> <p style="text-align: center;">(100m2 あたり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世</td> <td>話 役</td> <td>人</td> <td>1.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠 工</td> <td>〃</td> <td>1.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山</td> <td>林 砂 防 工</td> <td>〃</td> <td>3.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠</td> <td>m2</td> <td>100.0</td> <td>600×1200 (mm) <u>(追加)</u></td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>り 付 け 部 品</td> <td>m2</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ</td> <td>フ テ レ ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))</td> <td>日 (h)</td> <td>0.50 3.00</td> <td>ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費</td> <td>%</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。</p> <p>2. 諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3. ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。</p> <p>4. ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.45m3)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。 ・型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で4m 以内、垂直距離で5m以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認)</p> <p>5. ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間/日とする。(森林保全事業建設機械経費積算要領：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)=6.00)</p> <p>3.～4. (略)</p> <p>ウ (略)</p> <p>(2)～(3) (略)</p> <p>4-1～5 (略)</p>	名	称	単 位	数 量	摘 要	世	話 役	人	1.50		型	枠 工	〃	1.70		山	林 砂 防 工	〃	3.50		型	枠	m2	100.0	600×1200 (mm) <u>(追加)</u>	取	り 付 け 部 品	m2	100.0		ラ	フ テ レ ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)	諸	雑 費	%	13.0	
名	称	単 位	数 量	摘 要																																																																													
世	話 役	人	1.50																																																																														
型	枠 工	〃	1.70																																																																														
山	林 砂 防 工	〃	3.50																																																																														
型	枠	m2	106.0	600×1200 (mm)、 <u>ロス率6%</u>																																																																													
取	り 付 け 部 品	m2	100.0																																																																														
ラ	フ テ レ ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)																																																																													
諸	雑 費	%	13.0																																																																														
名	称	単 位	数 量	摘 要																																																																													
世	話 役	人	1.50																																																																														
型	枠 工	〃	1.70																																																																														
山	林 砂 防 工	〃	3.50																																																																														
型	枠	m2	100.0	600×1200 (mm) <u>(追加)</u>																																																																													
取	り 付 け 部 品	m2	100.0																																																																														
ラ	フ テ レ ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.45m3)																																																																													
諸	雑 費	%	13.0																																																																														

## 神奈川県森林土木事業設計要領（治山編） 第3編 積算編 新旧対照表

新	旧																																																																																
<p><b>6. コンクリート土留工</b></p> <p>(1) 型枠工（森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式3章②型枠工）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート土留工は森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式3章②型枠工の無筋構造物を適用。</li> <li>残存型枠(残存軽量型枠)を使用する場合は以下のとおりとする。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世</td> <td>話 役</td> <td>人</td> <td>2.80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠 工</td> <td>〃</td> <td>3.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山</td> <td>林 砂 防 工</td> <td>〃</td> <td>6.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠</td> <td>m2</td> <td style="color: red;">106.0</td> <td>600×1200 (mm)、<u>ロス率6%を見込む</u></td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>り 付 け 部 品</td> <td>m2</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ</td> <td>フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))</td> <td>日 (h)</td> <td>0.50 3.00</td> <td>ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費</td> <td>%</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。</p> <p>2. 諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3. ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。</p> <p>4. ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.28m3)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で 2.5m 以内、垂直距離で 4.5m以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認)</li> </ul> <p>5. ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間/日とする。(森林整備保全事業建設機械経費積算要領)：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)=6.00</p> <p><b>第4節～第6節 (略)</b></p>	名	称	単 位	数 量	摘 要	世	話 役	人	2.80		型	枠 工	〃	3.00		山	林 砂 防 工	〃	6.00		型	枠	m2	106.0	600×1200 (mm)、 <u>ロス率6%を見込む</u>	取	り 付 け 部 品	m2	100.0		ラ	フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)	諸	雑 費	%	13.0		<p><b>6. コンクリート土留工</b></p> <p>(1) 型枠工（森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式3章②型枠工）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート土留工は森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式3章②型枠工の無筋構造物を適用。</li> <li>残存型枠(残存軽量型枠)を使用する場合は以下のとおりとする。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世</td> <td>話 役</td> <td>人</td> <td>2.80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠 工</td> <td>〃</td> <td>3.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山</td> <td>林 砂 防 工</td> <td>〃</td> <td>6.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型</td> <td>枠</td> <td>m2</td> <td style="color: red;">100.0</td> <td>600×1200 (mm) <u>(追加)</u></td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>り 付 け 部 品</td> <td>m2</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ</td> <td>フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))</td> <td>日 (h)</td> <td>0.50 3.00</td> <td>ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費</td> <td>%</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 上記歩掛は水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。水抜きパイプは別途計上する。</p> <p>2. 諸雑費は組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカッター、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する諸経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3. ラフテレーンクレーンは賃料を計上する。</p> <p>4. ラフテレーンクレーンが搬入できない現場ではバックホウ(クレーン機能付、山積 0.28m3)を計上することができる。ただし、その場合は以下のことに注意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>型枠材の運搬範囲がバックホウ設置箇所から水平距離で 2.5m 以内、垂直距離で 4.5m以内の範囲であることを確認すること。(クレーン作業の作業可能範囲の確認)</li> </ul> <p>5. ラフテレーンクレーンの運転時間は 6.00 時間/日とする。(森林整備保全事業建設機械経費積算要領)：建設機械損料算定表参照 720(時間)/120(日)=6.00</p> <p><b>第4節～第6節 (略)</b></p>	名	称	単 位	数 量	摘 要	世	話 役	人	2.80		型	枠 工	〃	3.00		山	林 砂 防 工	〃	6.00		型	枠	m2	100.0	600×1200 (mm) <u>(追加)</u>	取	り 付 け 部 品	m2	100.0		ラ	フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)	諸	雑 費	%	13.0	
名	称	単 位	数 量	摘 要																																																																													
世	話 役	人	2.80																																																																														
型	枠 工	〃	3.00																																																																														
山	林 砂 防 工	〃	6.00																																																																														
型	枠	m2	106.0	600×1200 (mm)、 <u>ロス率6%を見込む</u>																																																																													
取	り 付 け 部 品	m2	100.0																																																																														
ラ	フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)																																																																													
諸	雑 費	%	13.0																																																																														
名	称	単 位	数 量	摘 要																																																																													
世	話 役	人	2.80																																																																														
型	枠 工	〃	3.00																																																																														
山	林 砂 防 工	〃	6.00																																																																														
型	枠	m2	100.0	600×1200 (mm) <u>(追加)</u>																																																																													
取	り 付 け 部 品	m2	100.0																																																																														
ラ	フ テ レ ー ン ク レ ー ン (バックホウ(クレーン機能付))	日 (h)	0.50 3.00	ラ：油圧伸縮ジブ 25t 吊 バ：山積み(0.28m3)																																																																													
諸	雑 費	%	13.0																																																																														

神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）  
第3編 積算編 新旧対照表

新	旧																																								
<p><b>第7節 仮設工</b> 1～8 (略)</p> <p><b>9. 安全ネット</b> 落石のおそれのある掘削法面直下等で作業する場合に適用する。 100㎡当たり</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.00</td> <td>設置2人、撤去1人</td> </tr> <tr> <td>安全ネット</td> <td>網目 15 mm</td> <td>㎡</td> <td>100.00</td> <td>損率 30%</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>5.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 雑費は安全ネット設置に必要な材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。 <u>(削除)</u></p> <p><b>第8節</b> (略)</p>	名称	形状寸法	単位	数量	備考	山林砂防工 (普通作業員)		人	3.00	設置2人、撤去1人	安全ネット	網目 15 mm	㎡	100.00	損率 30%	諸 雑 費		%	5.00		<p><b>第7節 仮設工</b> 1～8 (略)</p> <p><b>9. 安全ネット</b> 落石のおそれのある掘削法面直下等で作業する場合に適用する。 100㎡当たり</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山林砂防工 (普通作業員)</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.00</td> <td>設置2人、撤去1人</td> </tr> <tr> <td>安全ネット</td> <td>網目 15 mm</td> <td>㎡</td> <td>100.00</td> <td>損率 30%</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>5.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 雑費は安全ネット設置に必要な材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。 <u>2 森林整備保全事業標準歩掛の留意事項7を適用する。</u></p> <p><b>第8節</b> (略)</p>	名称	形状寸法	単位	数量	備考	山林砂防工 (普通作業員)		人	3.00	設置2人、撤去1人	安全ネット	網目 15 mm	㎡	100.00	損率 30%	諸 雑 費		%	5.00	
名称	形状寸法	単位	数量	備考																																					
山林砂防工 (普通作業員)		人	3.00	設置2人、撤去1人																																					
安全ネット	網目 15 mm	㎡	100.00	損率 30%																																					
諸 雑 費		%	5.00																																						
名称	形状寸法	単位	数量	備考																																					
山林砂防工 (普通作業員)		人	3.00	設置2人、撤去1人																																					
安全ネット	網目 15 mm	㎡	100.00	損率 30%																																					
諸 雑 費		%	5.00																																						